

第360回: 日米共同声明とゴルフ対決

検索エンジンのグーグルに「トランプ、世界」と打ち込んで検索すると、出るわ出るわ！大混乱、総スカン、厄災、発火点、災禍、終末といったネガティブなワードが次々に登場する。世界中のリーダーたちがトランプ大統領との距離感を掴みかねているなか、虎穴に入らずんば虎子を得ずと考えたのか、主要国のなかではイギリスのメイ首相に次ぐスピードで、2月9日にワシントンに飛んだ安倍晋三首相に対し、トランプさんは異例のもてなしで代表団を迎えた。

10日首都ワシントンで公式会談を終えたあと両国首脳は共同記者会見に臨み、日米同盟及び経済関係を一層強化するための強い決意を確認する共同声明を発表した。その後、大統領専用機に搭乗した二人は、トランプ氏の別荘があるフロリダ州パームビーチに場所を移し、大統領夫妻主催の夕食会に臨み、翌11日は、昼間はゴルフ三昧、夜は連日の夕食会で友好を深めた。

日本の首相にとっても、アメリカの大統領にとっても、外国首脳と連日連夜で夕食をともにするのは、極めて異例なことである。ハイタッチしながら無邪気にゴルフに興じている両首脳を見ていると、この二人、ホントにウマが合いそうな雰囲気だ。

ワシントンから場所を変えて、グリーン会談をアレンジするとは、外務省も国務省も粋な計らいをするものだと感心しつつ、でもそうは云っても、超多忙な二人のことだから、軽くハーフラウンド(9ホール)かなと思っていたら、あにはからんや、両氏は早朝、大統領専用車に坐乗し、ジャック・ニクラウスが設計した名コース「トランプ・ナショナルGCジュピター」に到着し、プロゴルファーのアーニー・エルスも交えてワンラウンド終えたあと、午後は「トランプ・インターナショナルGCウエストパームビーチ」に場所を変えて、今度は二人で更にハーフ回ったというから魂消た。気温は夏に近い20数度℃。汗まみれになってワンハーフも回るとは・・・ノーテンキとは云わないが、よくやるよ。

どっちが勝ったかは国家機密として公開されないようだが、漏れ伝わるところによると、トランプ氏が常時40ヤードくらいオーバードライブしたらしい。トランプ氏は身長190センチ、体重107キロの巨漢、軽く260ヤードくらい飛ばすようだ。同氏のハンデは2.8で、ベストスコアが66というからセミプロ級だ。安倍さんの腕前もハンデ15で、スコアは90前後と云うから立派なものだが、シングル・プレーヤーには勝てない。トランプ大統領の外交手腕は未定だが、ことゴルフに限っては、米国歴代大統領のなかで、1-2を争う腕前であるのは間違いない。

アメリカ歴代大統領でトランプに匹敵する腕前のゴルファーがいるとすれば、ドワイト・アイゼンハワーだろう。彼は2009年に、「特別功労者」として世界ゴルフ殿堂入りを果たしている。もっとも彼の殿堂入りは、腕前もさることながら、熱狂的なゴルフ愛好家であったことに由来するようだ。なにしろ多忙な8年の在任中に、大統領(50年代の新聞呼称です)は、なんと800回もゴルフ場に通ったらしい。同氏が対決した海外の指導者のなかには、安倍さんのお祖父さんの岸信介首相も含まれている。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

安倍首相は訪米前に、お祖父さんから聞いた話として「目の前でホールを外して悔しがるアイゼンハワーの姿を見て、二人の距離は急速に縮まった」と、1957年4月に両首脳がワシントンDC郊外のバーニング・ツリー・カントリークラブでプレーした逸話を披露している。

ア大統領はマスターズで有名なオーガスタ・ナショナルGCのメンバーであり、コースのなかに「アイゼンハワー・キャビン」と呼ばれる執務室を構えていたというから半端ではない。数年前雪害により伐採されてしまったが、オーガスタ 17 番ホールには、前方210ヤードあたりに「アイゼンハワーツリー」と呼ばれる巨木が立ちふさがっていた。スライス病に悩むアイゼンハワーが、しょっちゅうその木に当ててはスコアを崩し、アタマに来たアイクが遂に、「あの木を切ってくれ」とコース側に嘆願したことが由来である。トランプ氏なら直ちに大統領令を発令したことだろう。もっともコース理事会は、大統領の要請を断固拒否したというから、アイクの腕前もその程度だったようだ。因みにオバマ前大統領のハンデは13(一説に18)だったらいい。

日米首脳会談に対し、中国各紙は、ポーカーフェイスで極めて冷静に報道している。中国共産党の機関紙人民日報の国際版で、しょっちゅう日本攻撃を仕掛けてくる環球時報の11日の見出しは、「特朗普与安倍会谈：致力用全部军事实力保卫日本(トランプ・安倍会谈：全ての軍事力を行使して日本を防衛する)」とある。記事では、日米の合意事項が淡々と述べられているだけで、いつもの批判や皮肉が影を潜めている。「安倍首相がヒラリーからトランプに乗り換え、さっそく尻尾を振り始めた」、なんて記事が出ると思っていたが、いま中国は、米国とどう対峙すべきか結論が出てないようだ。

日本のメディアの多くは、共同声明文で「両首脳は、日米安全保障条約第5条が尖閣諸島に適用されることを確認した」と報道しているが、米国の日本防衛に関する確約「The U.S. commitment to defend Japan through the full range of U.S. military capabilities, both nuclear and conventional, is unwavering. (核及び通常戦力の双方によるあらゆる種類の米国の軍事力を使った日本の防衛に対する米国のコミットメントは揺るぎない)」のサワリは報道していない。「共同声明全文」のなかには記載されているが。

安倍首相のお祖父さんや、大祖父さんの頃は知らないが、この2、30年の間に発信された日米共同声明において、日本防衛の軍事力には核兵器も含まれると明記した例はない。中国が大きな衝撃を受けたことは間違いない。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年2月13日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3